

## 【4年（話すこと）】

話の中心が伝わる発表の仕方を使って、調べたことを学級の人々に発表しよう（「調べて話そう、生活調査隊」）  
指導者 北島 智博（玉名市立小天小学校）

視点1 学びを自覚するための手立て

視点2 共に学び続けるための工夫

### 学びの土台

これまで：相手や目的に合う理由や資料を選び、工夫して話す  
これから：調べたことを、資料を見せながら、聞く人に分かりやすく話す

### 学習課題

「資料の使い方」や「話し方」に着目して話し合い、話の中心が伝わる発表の仕方を工夫して、調べたことを学級の人々に発表しよう。

#### 指導事項

話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと  
A話すこと・聞くこと(1)ウ

#### 思考操作

「資料の使い方」「話し方」の二つの視点に着目して話し合う

### 言語活動

調べたことを学級の人々に発表する

#### <立ち止まって振り返る場>

学びのプロセスや有用感を自覚できるように、「友だちの発言でわかったこと」「学習課題につながることを振り返ることができるようにする。

#### <考えを表出し比較する場>

二つの動画を比べて、どちらの発表がよかったか、考えを赤・青で表出できるようにする。そして、その理由を話し合うことで話の中心が伝わる発表の工夫を考えることができるようにする。

言葉による  
見方・考え方を  
働かせる

#### <納得解を生み出す根拠や理由づけの充実>

話の中心を伝えるために、①資料を見せながら話す ②間の取り方 ③声の強弱 の三つの視点で自分たちの発表をレーダーチャートで評価し、発表をよりよくできるように話し合うことで、納得解を生み出せるようにする。

### 本単元で目指す子どもの姿

委員会や係活動などで伝えたいことがある時に、話の中心が伝わるように工夫し、調べたことを聞く人にわかりやすく伝えようとする子ども。

単元

本時

# 第4学年1組 国語科学習指導案

指導者 玉名市立小天小学校 北島 智博

- 1 単元名 話の中心がわかる発表の仕方を使って、調べたことを学級のみんに発表しよう  
「調べて話そう、生活調査隊」(光村図書4年)
- 2 学習課題 「資料の使い方」や「話し方」に着目して話し合い、話の中心が伝わる発表の仕方を工夫して、調べたことを学級のみんに発表しよう。

[指導事項] 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができるようにする。A 話すこと・聞くこと(1)ウ

[思考操作] 「資料の使い方」や「話し方」に着目して話し合う。

[言語活動] 調べたことを学級のみんに発表しよう。

## 3 単元について

### <教材観>

本教材の特徴としては次の通りである。

- ・子どもが話の中心や場面を意識して、相手にわかりやすい話し方を獲得できる教材である。
- ・調べたことを報告する活動は他教科と連携を図ることができ、子どもたちの興味関心が高いと考えられる。
- ・調べたことを加工しグラフや表を作成するといった学習経験は、発信者の目的や意図を重視していく学習の基盤となる。

以上の特徴から、話の中心が伝わる話し方を考えることができ、調べたことを目的に応じて資料として加工処理することができる教材であると言える。そのような学びを生み出すために、調べたことを学級のみんに発表しようという言語活動を核にした単元を構想する。

### <児童観>

子どもたちは、これまで3年「わたしたちの学校じまん」で、話の中心が明確になるように、理由や事例を挙げながら話の構成を考え話すことを学んできている。しかし、目的や場などを意識し話し方を工夫する子どもはまだ少ない。言葉の抑揚や強弱、間の取り方、グラフや表などを使った話し方等の具体的な工夫の仕方については学んできていない。

### <視点について>

#### 〔視点1〕 学びを自覚するための手立て

学びのつながりを自覚するために、既習教材の3年「わたしたちの学校じまん」での学習を振り返る。今までの学習では、相手や目的を考え理由をあげて話をしたり資料を使って話をしたりすることを学んできている。そのことを土台としながら、話の中心が伝わる話し方の視点として「資料の使い方」「話し方(声の大きさ、間のとり方、声の強弱、話す速さ)」があることを確認できるようにする。

学習課題を設定する場面では、生活の中で水を大切に使うことやゴミのリサイクルを促すことを学級のみんに発表するという目的を明確にする。総合的な学習の時間や社会科で学習していることとも関連させ、学びの有用感や連続性が意識できるようにする。

立ち止まって振り返る場の設定では、学びのプロセスや有用感を自覚できるように、「友だちの発言でわかったこと」「学習課題につながることを振り返ることができるようにする。

#### 〔視点2〕 共に学び続けるための工夫

本時において、二つの動画を比べて、どちらの発表がよかったか、赤・青で考えを表出し話し合うことができるようにする。話し合いの中で、話の中心が伝わる発表の工夫を、①資料を見せながら話す ②間の取り方 ③声の強弱と整理する。そして、それらの視点を使い、自分たちの発表をレーダーチャートで評価できるようにし、発表の工夫に生かしていけるようにする。

#### 4 単元目標

- 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。 (知・技) (1) イ
- 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 (思A) (1) ア
- 相手に伝わるように理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。 (思A) (1) イ
- ◎ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。 (思A) (1) ウ
- 粘り強く、話し方を工夫し、学習課題に沿って考えをまとめようとする。 (学・人)

#### 5 指導と評価の計画 (8時間取り扱い)

次	時	学習活動	教師のかかわり	評価規準 [評価方法]
一	1	○単元名と学習課題を確認し、単元の見通しをもつ。  ○題材を考える。	・総合的な学習の時間や社会科での学習と関連付け、学習課題の設定を行う。  ・グループで調べたいことについて話し合い、題材を決める。 ・今までに学習した話す聞くの学習を想起する活動や教科書教材の動画を通して学習計画を立てる。	<b>思</b> 自分たちの生活に関連する題材を選んでいる。 [ワークシート・発言]
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〈学習課題〉「資料の使い方」や「話し方」に着目して話し合い、話の中心が伝わる発表の仕方を工夫して、調べたことを学級のみんなに発表しよう。</p> </div>				
二	2	○表やグラフ、アンケートの方法を確認し、グループ毎にアンケートを作成する。	・アンケートでは、最終的なデータの処理や表現の方法まで考えておくことを伝える。	<b>思</b> 話の中心を考えてアンケートを作成している。 [ワークシート]
	3	○アンケートを集計し、集計結果を基に発表用の資料を作成する。	・話の中心を考えながらアンケートを作成するように促す。 ・集計結果を、グラフや表でまとめるようにする。	<b>思</b> 自分の発表に生かせる資料を選び、工夫している。 [ワークシート]
	4	○グループごとに原稿の作成を行い、発表の練習をする。	・教科書を参考に、発表の組み立てや発表原稿を作成できるようにする。 ・発表の練習では自分たちの発表をタブレットで録画できるようにする。	<b>思</b> 話の中心がわかる構成を考え発表原稿を作成している。 [ワークシート]
	5 本時	○発表の工夫を捉え、自分たちの発表に生かす。	・二つの動画を比べて、話の中心が伝わる発表の工夫を捉えることができるようにする。 ・捉えた発表の工夫を自分たちの発表に生かせるように、グループで活動ができるようにする。	<b>思</b> 話の中心が伝わる工夫をして、自分たちの発表をよりよくしようとしている。 [ワークシート]
	6	○グループの発表の練習をする。	・グループ毎に発表の練習が行えるようにする。	
三	7	○発表会をし、感想を伝え合う。	・発表会では、発表の工夫の視点を意識して他グループの発表を聞くことができるようにする。	<b>知</b> 獲得した発表の仕方の工夫を意識して発表している。 [発言]
	8	○単元を振り返り、身につけた力を確認する。	・単元全体で学んだ身につけた力を振り返る。	<b>主</b> 粘り強く、学習課題に沿って発表を工夫している。 [ワークシート]

## 6 本時の学習（5／8）

### （1）目標

話の中心が伝わる工夫を考える活動を通して、グループの発表に生かすことができる。

### （2）展開

時間	学習活動	○教師のかかわり ◆評価 [方法]	備考
5	1 前時の学習を振り返り、本時の課題を捉える。	○前時での学習を振り返り、発表の仕方でうまくいかなかったところを共有し、発表の仕方が課題であることを自覚できるようにする。	
話の中心が伝わる発表の工夫を考えよう。			
20	2 教師が作成した動画を比べて、発表の工夫を考える。	○「教科書 P115 発表の例の原稿」を基に教師が作成した動画を二つ提示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>〈視点2-①〉考えを表出し比較する場</b></p> <p>○二つの動画を比べて、どちらの発表がよかったか赤・青で考えを表出できるようにする。そして、その理由を話し合うことで話の中心が伝わる発表の工夫を考えることができるようにする。</p> </div> <p>○既習事項を基に、新たに獲得する発表の工夫として、            ①資料を見せながら話す            ②間の取り方            ③声の強弱            の三つを整理し、話の中心を意識して発表の工夫を行うことを確認する。</p>	動画資料
15	3 グループで自分たちの動画を見直す。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>〈視点2-②〉納得解を生み出す根拠や理由付けの充実</b></p> <p>○話の中心を伝えるために、①資料を見せながら話す ②間の取り方 ③声の強弱の三つの視点で自分たちの発表をレーダーチャートで評価し、発表をよりよくできるように話し合うことで、納得解を生み出せるようにする。</p> </div> <p>○自分のグループの発表を個人で評価する。そして、レーダーチャートを見せ合いながら、話の中心が伝わる工夫について話し合うことができるようにする。            ◆話の中心が伝わる工夫をして、自分たちの発表をよりよくしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">[ワークシート]</p>	以前自分たちが撮った動画 タブレット
5	4 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>〈視点1-③〉立ち止まって振り返る場</b></p> <p>○学びのプロセスや有用感を自覚できるように、「友だちの発言でわかったこと」「学習課題につながることを振り返ることができるようにする。</p> </div> <p>○振り返りはタブレットを用いて行う。単元を通して、振り返りが蓄積できるシートを使い、学びの連続性や自分の学びが意識できるようにする。</p>	タブレット